AsciiDoc環境構築 覚え書き

K0.1, 2019/08/24

目次

AsciiDocについて	1
環境構築手順	2
2.1. Chocolateyをインストール	2
2.2. Ruby等のパッケージをインストール	2
2.3. AsciiDoc関連ツールをインストール	3
2.4. 作業ディレクトリを作成する	3
実際にAsciiDocを書いてみる	6
3.1. テストサンプルを書く	6
3.2. プレビューを行う	8
3.3. HTMLやPDFに変換する	9

1. AsciiDocについて

AsciiDocとは?

- Markdownのような軽量マークアップ言語の一つ
- プレーンテキストで体裁が整った文章が書ける
- 可読性が高くMarkdownよりも表現力が高い

メリット

- テキスト形式なのでGitで管理しやすい
- インクルード機能により外部ファイルの読み込みができる
- HTML、PDFへの変換ができる



AsciiDoc公式サイト http://asciidoc.org/

2. 環境構築手順

- 1. パッケージマネージャーのChocolateyをインストール
- 2. Chcolateyのリポジトリに登録されているRuby等のパッケージをインストール
- 3. Ruby製のAsciiDoc関連ツールをインストール
- 4. 作業ディレクトリを作成

2.1. Chocolateyをインストール

コマンドプロンプト(管理者権限)で以下を実行

@"%SystemRoot%\System32\WindowsPowerShell\v1.0\powershell.exe" -NoProfile
-InputFormat None -ExecutionPolicy Bypass -Command "iex ((New-Object
System.Net.WebClient).DownloadString('https://chocolatey.org/install.ps1'))" &&
SET "PATH=%PATH%;%ALLUSERSPROFILE%\chocolatey\bin"



公式サイト

https://chocolatey.org/install#installing-chocolatey

インストール手順解説(日本語)

https://giita.com/konta220/items/95b40b4647a737cb51aa

Chocolateyとは?

• Windows上で動作するソフトウェアをコマンドラインでパッケージ管理可能なツール

メリット

- Chocolateyのリポジトリに登録されているパッケージを一発でインストールできる
- Chocolateyでインストールしたソフトは一括でアップデートできる

2.2. Ruby等のパッケージをインストール

コマンドプロンプト(管理者権限)で以下を実行

```
cinst ruby -y ①
cinst graphviz -y ②
cinst jdk8 -y ③
cinst vscode -y ④
cinst sourcetree --version 2.5.5 -y ⑤
```

- ① Ruby (AsciiDoc関連ツールを利用するのに必要)
- ② Graphviz (PlantUML等で記述した図の表示に必要)
- ③ Java (同上)
- ④ Visual Studio Code (AsciiDocをプレビュー可能なテキストエディタ)
- ⑤ SourceTree (GitのGUIツール)

AsciiDoc環境構築 覚え書き K0.1 (2019/08/24)

Atlassianアカウントを作成してSourceTreeのサインインに成功したらコマンドプロンプト(管理者権限)で以下を実行しアップデートする



choco upgrade all -y

※初めから最新verをインストールしないのはBitbucketに登録せずに利用するため https://hepokon365.hatenablog.com/entry/2019/03/25/222814

2.3. AsciiDoc関連ツールをインストール

コマンドプロンプトで以下を実行

```
gem install asciidoctor ①
gem install --pre asciidoctor-pdf ②
gem install asciidoctor-pdf-cjk ③
gem install asciidoctor-diagram ④
gem install coderay ⑤
```

- ① AsciiDoc→HTMLに変換用
- ② AsciiDoc→PDFに変換用
- ③ PDF変換のレイアウト崩れ対応用
- ④ PlantUML等の図の記述用
- ⑤ コードのシンタックスハイライト用

社内のネットワークから実施する場合はgemにproxyを指定する



gem install xxxx -p proxy http://アドレス:ポート

proxyの確認手順

https://pasokatu.hateblo.jp/entry/2017/07/04/111147

asciidoctor公式サイト https://asciidoctor.org/

2.4. 作業ディレクトリを作成する

ドキュメント作成のための作業ディレクトリを用意

```
└ test // ドキュメント(*.adoc)を格納するフォルダ
├ dist // HTMLやPDFの出力先
├ fonts // フォントファイルを格納
├ images // イメージファイルを格納
└ style // スタイルファイルを格納
```

HTMLのスタイルファイル

asciidoctorの配布ファイルがWindowsの場合は以下にあるのでコピペして利用

```
// ruby2.6でasciidoctorのverが2.0.10の場合
C:\tools\ruby26\lib\ruby\gems\2.6.0\gems\asciidoctor-
2.0.10\data\stylesheets\asciidoctor-default.css
```

PDFのスタイルファイル

asciidoctor-pdfの配布ファイルがWindowsの場合は以下にあるのでコピペして利用

```
// ruby2.6でasciidoctor-pdfのverが1.5.0.beta.2の場合
C:\tools\ruby26\lib\ruby\gems\2.6.0\gems\asciidoctor-pdf-
1.5.0.beta.2\data\themes\default-theme.yml
```

デフォルトのスタイルファイル css:そのままでも十分使えそう

yaml:いまいちなのでHTML化時のスタイルに寄せた設定に修正してみた(public_style.ymlとして利用)

公式サイト

 $\underline{https://github.com/asciidoctor/asciidoctor-pdf/blob/master/docs/theming-guide.adoc}$

色表

https://www.lab-nemoto.jp/www/leaflet_edu/ColorMaker.html

PDF化時に文字の色が変わるようにする https://blog.siwa32.com/asciidoctor_pdf_color/

→「2.2 asciidoctor-pdfのソースを修正する」

フォントファイル

asciidoctor-pdfの配布ファイルがWindowsの場合は以下にあるのでコピペして利用

```
// ruby2.6でasciidoctor-pdfのverが1.5.0.beta.2の場合
C:\tools\ruby26\lib\ruby\gems\2.6.0\gems\asciidoctor-pdf-
1.5.0.beta.2\data\fonts\*.ttf
```



参考サイト

https://ryuta46.com/267

https://qiita.com/kuboaki/items/67774c5ebd41467b83e2

ドキュメントファイル

適当にメモ帳で以下の設定で作成する

拡張子 : .adoc 文字コード : UTF-8 AsciiDoc環境構築 覚え書き K0.1 (2019/08/24)

格納後の作業フォルダ内はこんな感じになる

3. 実際にAsciiDocを書いてみる

VScodeで*.adocファイルを開く

3.1. テストサンプルを書く

AsciiDocの文章の設定を行うAttributeと表紙の設定に続いて本文という構成にしてみた

```
// Attribute
//ドキュメント種類
:doctype: book
//ドキュメント言語
:lang: ja
//目次生成
:toc: left
//目次生成階層数
:toclevels: 2
//目次タイトル
:toc-title: 目次
//章番号生成
:sectnums:
//章番号生成階層数
:sectlevels:
//PDF化時の章タイトル
:chapter-label:
//シンタックスハイライト
:source-highlighter: coderay
//アイコンフォント
:icons: font
//UIマクロ
:experimental:
//HTML化時の画像のdata-uri要素化
:data-uri:
//画像ファイル格納先
:imagesdir: ./images
//HTML化時のスタイルファイル格納先
:stylesdir: ./style
//HTML化時のスタイルファイル
:stylesheet: asciidoctor-default.css
//PDF化時のスタイルファイル
:pdf-style: ./style/public_style.yml
//PDF化時のフォントファイル格納先
:pdf-fontsdir: ./fonts
// 表紙
```

```
//ドキュメントタイトル、表紙に入る
= asciidoctの使い方
//ドキュメントタイトル、ヘッダーに入る
:docname: asciidoctの使い方
//著者
:author:
//改定番号
:revnumber: K0.1
//改定日
:revdate: 2019/08/24
//改定番号のラベル
:version-label:
//ロゴ画像
//:title-logo-image:
//表紙背景画像
//:title-page-background-image:
== asciidocとは?
asciidocとは [blue]#軽量マークアップ言語# です
詳しくは<<can_asciidoc,asciidocでできること>>を参照
[[can asciidoc]]
== asciidocでできること
.コードハイライト
[source, json]
 "hoge": "fuga",
 "foo": [1,2,3]
}
.結合+箇条書例
[cols="1,2a,3a"]
|====
|列1|列2|列3
3+|3列結合
.2+|2行縦結合|b-1|c-2
|b-2|
* c-3
* c-4
|====
[NOTE]
* format="csv"ではできません
====
=== asciidoctorだとPlantUMLでシーケンス図作成
[plantuml]
```

actor ユーザー as user user -> ログイン: ログインする ログイン --> user:

3.2. プレビューを行う

VScodeの設定を行うことでプレビュー(ショートカット $Ctr1+K \rightarrow V$)が可能

拡張機能をインストール

[表示]→[拡張機能]からAsciiDoc を検索しインストール

参考サイト

https://giita.com/o_sol06/items/a07ebcb0b48295a4c3b3

VScodeを日本語表示にする拡張機能

https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=MS-CEINTL.vscode-language-pack-ja

asciidoctorの設定を変更

[ファイル]→[基本設定]→[設定]から asciidoctor を検索し、以下の設定を行う

asciidoctor_command : asciidoctor -n -r asciidoctor-diagram -oasciidoctorpdf_command : asciidoctor-pdf -n -r asciidoctor-diagram -r asciidoctor-pdf-cjk -o-

use_asciidoctor_js : false(チェックを外す)

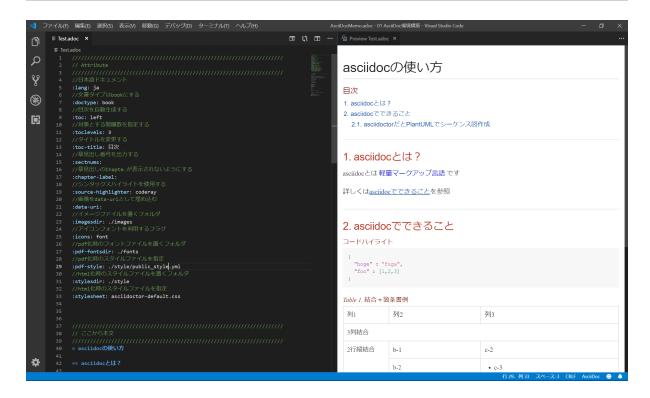


参考サイト

https://giita.com/hyt126/items/fdeff36f09bb221dfac0

参考までに「3.1.テストサンプル」のプレビュー結果を以下に示す

AsciiDoc環境構築 覚え書き K0.1 (2019/08/24)



3.3. HTMLやPDFに変換する

コマンドプロンプトで以下を実行(*にファイル名を指定)

• HTMLファイルに変換

```
asciidoctor -r asciidoctor-diagram -o dist/*.html *.adoc
```

• PDFファイルに変換

asciidoctor-pdf -r asciidoctor-diagram -r asciidoctor-pdf-cjk -o dist/*.pdf *.adoc